

平成26年度予算見積調書

課室名：産業人材育成課

担当名：委託訓練・連携推進担当

内線：4605

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B103	キャリア教育推進事業費			一般会計	労働費	労政費	労政総務費	キャリア教育促進事業費	
事業期間	平成23年度～	根拠法令				戦略項目	04 雇用の安心		
						分野施策	020201 就業支援と雇用の拡大		
<p>1 事業の概要</p> <p>リーマンショック後の急激な雇用情勢の悪化などにより、大学生の未内定4年生や既卒未内定者の増加が社会問題になっている。進学率の上昇に大学の就職支援力が追いついていないことや、学生がキャリア形成を意識する時期が遅いことなども一因となっている。</p> <p>そこで、小学校から就職期に至るまでの若者のキャリア形成を推進し、次代を担う人材を育成するため、産業界、教育機関、行政などが、それぞれの役割を踏まえた連携、協力によりキャリア教育施策を実施する。</p> <p>(1) キャリア教育の推進に関する会議の開催等 133千円</p> <p>(2) ジョブシャドウイングの実施 892千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容・事業計画</p> <p>ア キャリア教育の推進に関する会議の開催等 133千円 キャリア教育に関する会議を産業界や教育機関と連携し開催するとともに、大学等への出前講座を実施する。大学におけるキャリア教育充実支援(会議1回及び県政出前講座の実施)</p> <p>イ ジョブシャドウイングの実施 892千円 県内の高校生を対象に、都内、県内の企業等においてジョブシャドウイングを実施する。 募集人数 170人 5月：受入協力企業の決定、生徒募集開始 6月：参加生徒の決定 7月：事前学習会 7月～8月：各企業でジョブシャドウイング体験 8月：事後学習会</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(2) 事業効果</p> <p>大学生等の未内定者数や早期離職率が高止まりにある中、早い段階からのキャリア形成を支援することで、厳しい雇用情勢や産業構造の変化にも対応できる底力ある若者を育成することができる。 <ジョブシャドウイング参加生徒(高校)の実績> 平成24年度：164人(49校)、平成25年度：176人(38校)</p>					
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>				<p>(3) 県民・民間活力、職員のマンパワー活用、他団体との連携等 都内、県内の企業と連携し、ジョブシャドウイング事業を実施している。</p>					
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	1,025							1,025	212
前年額	1,237							1,237	